

NO! リニア

No. 164

2023年3月14日

JR東海労働組合

JR東海労HP
にアクセス↓



高速長尺先進ボーリングは直ちに中止せよ! 調査は詭弁! 目的は水抜き! ? その1

会社は2月21日、山梨県から静岡県に向けての高速長尺先進ボーリングの削孔を強行しました。新聞報道によると、2月2日夕刻にJR東海が静岡県に対し、3日からボーリングの着手を通達、同日夜に国土交通省から「3日の着手を行わないことでJRと調整がとれた」と電話が入り、翌3日にJR東海が静岡県に「本日ボーリングは実施しない」と連絡したとされています。会社は国交省及び静岡県との決め事を反故にしたということです。

金子社長は「調査のためのボーリング」と見解を示していますが、詭弁に過ぎません。

ボーリング調査は、コア採取を目的としたコアボーリングと、そうではないノンコアボーリングの2種類に分類されます。コアボーリングは、コアを採取し地質等の情報を得るために、主にトンネル施工前の事前調査として行います。

一方、ノンコアボーリングは、一般的には水抜きのみを目的に行われます。高速長尺先進ボーリングはこれに該当します。また、坑内からの削孔はトンネル施工時の調査、つまりトンネル建設を前提としたものです。会社が言う調査のためのボーリングだとしても、効率良くトンネル建設を行うための調査であり、大井川の流水をなくす（減らす）ための調査ではありません。山梨県の先進坑からのボーリングがまさにそうです。

【参考文献】 より良い山岳トンネルの事前調査・事前設計に向けて（土木学会）